

FAX 通信

2007年3月1日発行 No. 01-25

From KOTANI

ホームページ <http://www.kotanikk.com>

シール概論-別冊 (25)

3. シール関連の規格類

JIS B 8663:2001「油圧-シリンダーピストン及びロッド用ウェアリングのハウジング-寸法」

この規格は、ISO10766-1996

Hydraulic fluid power - Cylinders-Housing for dimensions for rectangular-section-cut bearing rings for pistons and rods を翻訳した規格です。



油圧往復動用シリンダに使用するウェアリングのハウジングの寸法と許容差を規定したものです。

規格には、このウェアリングの詳細の形状や材料の規定はありません。

ウェアリングの主たる目的は相対する金属の接触するのを防ぐことです。

従って、荷重に対して変形(クリープ)がなく、また相手部材に損傷を与えず、かつ摩耗し難いことが必要になります。

国内と諸外国との間で少し異なるのは、ウェアリングの幅が国内では広いのを使用する傾向ですが、諸外国では幅を狭くして、複数個を使用していることです。

総合的に見ますと複数個使用して荷重の分散させることが得策と思っています。

ISOの規格にありますように、ウェアリングは正式名称ではなさそうです。

JIS B 8671:2006「油圧-作動油の標準エラストマーに対する適合性」

この規格は ISO 6072-2002

Hydraulic fluid power - Compatibility between fluids and standard elastomeric materials を翻訳した規格

です。

標準ゴム (NBR2 種類、EPDM, FKM, HNBR) について規定した規格です。

NBRの2種類はアクリロニトリル量の異なるもので構成されています。今後、他のゴムも追加されるでしょう。

従来、標準油 (ASTM, JIS 潤滑油) があり、ゴムの耐油試験する場合、この標準油を使用することで統一されています。

逆にこの対をなすのが、この標準ゴムとなる訳です。

比較試験をする場合には、やはりこのような標準のものが必要となります。

ただし、注意すべきなのは、標準油もこの規格の標準ゴムも一般に市販されているものとは、異なることです。(純粋なる基礎配合のゴムと見てください)

油もゴムも各メーカーは種々の添加剤などを加えて、特徴を出しています。

(続く)

DONIT TESNIT 製品の問い合わせフォーマット
スロベニアの労働力の利点は、勤勉さ、高度な技術、高生産性、創造性、高い教育程度、そして、誠実な手工業の伝統です。この様な東欧の小国スロベニアで、環境に優しい製品づくりをしている DONIT TESNIT 社のジョイントシートをご検討願います。

同社のジョイントシートはすべてノンアスベストで、すでに多くの使用実績があり、高く評価されています。

ご使用に際しては、どのタイプを選ぶかなどの問い合わせがあると思われますので、弊社のホームページにありますフォーマット資料をご使用して、問合せください。

コタニ株式会社

本社：神戸市中央区浜辺通 2-1-30

TEL:078-251-5300 FAX:078-252-1158

FAX 通信の記事についてのご意見や質問は次のメールアドレスに連絡ください。knemoto@suite.plala.or.jp (根本)